



2 年学年だより

発行日：令和 8 年 6 月 30 日（火）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：二上 直子 NO. 3



なぜ、人は感動するのか

—合唱コンクールを終えて—



校長代理 海部 祐喜子

梅雨の合間に夏の気配を感じる季節となりました。6月11日（木）に、横浜みなとみらいホールにて合唱コンクールが開催されました。中学1年生は学年として、中学2・3年生は各クラスの個性が光る素晴らしい発表となりました。私は審査員として会場中央付近で歌声を聴きながら、「なぜ人は感動するのだろうか」と改めて考えていました。

開会式でもお話ししたとおり、今回はコンクールであるため順位はつきませんが、各クラスが目指した音楽は唯一無二のものです。自分たちの合唱が成功だったかどうかは、自分たち自身が決めるものです。掲げた目標に照らし、どうであったかを大切にしてほしいと思います。

限られた練習時間の中で、音程を合わせることに苦勞したクラスや、意見がぶつかり合った場面もあったことでしょう。それでも仲間と工夫を重ね、一つの歌を作り上げた過程そのものに大きな価値があります。

合唱の醍醐味は数多くあるでしょうが、私はこの二つだと思っています。

一つは「歌詞」があること。器楽曲にも大きな感動がありますが、合唱では言葉が音楽に乗ります。希望や友情、葛藤や成長といった思いが、旋律とともに直接聴く人の心へ届いてきます。中高生という多感な時期だからこそ、歌詞の一つ一つが自分自身の経験や願いと重なり、より深く響くのでしょう。

もう一つは、開会式でもお伝えした「道具を使わず、声だけで人の心を動かす。歌は人類の偉大な発明の一つだと思う」という「人の声だけで音楽を作る」こと。呼吸も、響きも、強弱も、すべて人間の身体から生まれます。一人ひとりの異なる声が重なり合い、やがて一つの響きとなって会場を満たしていきます。その過程には機械では生み出せない温もりがあります。

学生時代、指揮者の先生から教わった言葉があります。ドイツの指揮者フルトヴェングラーは、「感動は人と人との間にある」という趣旨の言葉を残したそうです。演奏する人同士、そして聴く人との心が触れ合うところに感動が生まれるのだと、私は受け止めています。

今回の合唱コンクールでは、その言葉を思い出しました。舞台の上には緊張しながらも真剣な表情で歌う生徒たち。その姿を見守る先生方がいます。そして客席には家族や友人がいます。それぞれの立場で過ごしてきた時間や思いが、歌声を通して一つにつながる瞬間があります。感動は、誰か一人が作るものではありません。多くの人の思いが交わることで生まれるのだと思いました。

私自身も歌声に胸が熱くなり、思わず涙がこぼれました。なぜ、涙が出てきたのでしょうか。私なりの答えは、「歌の向こう側に、そのクラスが過ごしてきた時間が聴こえたから」です。本番の数分間の歌声の中には、何度も繰り返した練習があります。うまくいかなかった日もあります。励まし合った言葉もあります。仲間と過ごしたかけがえのない時間があります。その目には見えない努力や成長が、歌声となって私たちの心に届いたのだと思います。

だからこそ私たちは感動するのでしょう。美しい音だけにではなく、その音に込められた人の思いに。そして、一人では決して生み出せない響きを仲間とともに作り上げた子どもたちの姿に。

今年の合唱コンクールは、音楽の素晴らしさだけでなく、人と人がつながることの尊さを改めて教えてくれました。また、文化委員の皆さんが中心となって準備・運営を担ってくれました。朝早くからの準備や終了後の後片付けまで、本当によく頑張ってくれました。合唱できる喜びは、こうした多くの支えがあってこそ成り立つものです。心から感謝します。

さらに、横浜みなとみらいホールという素晴らしい文化施設を活用できたのも、保護者の皆様のご協力のおかげです。改めて深く御礼申し上げます。

合唱コンクール！どのクラスもとっても素敵な合唱でした！

6月11日（木）にみなとみらいホールで行われた中高合同合唱コンクール。どの学年、どのクラスも本当に素晴らしい合唱でした。

トップバッターを務めた2年生は、どのクラスも中間発表会の時の合唱から見違えるほど成長していて、正直その歌声に驚きました。この一か月、昼休みや放課後の練習に一生懸命に取り組み、上手くいかないときも指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心にクラス全員で話し合い、よりよい合唱を目指して努力してきました。その練習の成果が、しっかりと出せた本番の合唱だったと思います。まさに心に響く素敵な合唱でした。

本番まで毎日の練習計画を立て、クラスを引っ張ってくれた各クラスの文化委員さんに、今回の合唱コンクールを振り返ってもらいました。保護者の皆さま、当日はたくさんの応援、拍手、ありがとうございました。

2年1組の文化委員を務めた■■■■と■■■■です。合唱コンクール、2年1組は最高の形で終わることができたと思っています。

練習では、昼休みや放課後にも自主的に練習を「みんな」で行い、「みんな」で調整することができていました。また、ただひたすら練習するわけではなく、歌い出しやブレスのタイミング、強弱など細かい部分も全体で話し合い、確認しました。本番前日、緊張して表情が硬い人も多かったですが、歌っているうちに緊張も解け、表情が柔らかくなっていました。



1組文化委員の■■■■さんと■■■■さん

合唱コンクール当日、舞台裏では思ったより緊張している人が少なく、リラックスしているようでした。ステージ上に出てからは「みんな」一人ひとりが練習以上の出来で歌え、過去一番でした。結果として目標だった優勝には届きませんでしたでしたが、発表後に悔しさを感じている人も多く、それだけみんなが本気で取り組んでいたのだと思います。「みんな」を大切に練習したことは、クラスの大きな成長につながったと思います。この団結力を次の行事にも生かしていきましょう！

2年2組の文化委員を務めた■■■■と■■■■です。

2組は「流浪の民」という難しい曲にクラス一丸となって取り組みました。最初はクラスが上手くまとまらず、練習の時間になるたびにハラハラしていました。ですが、中間発表会を終え、心機一転みんなで素敵な合唱を創ろうという意識がグッと高まりました。指揮者やパートリーダーといった役職についている人はもちろん、そうでない人も意見を積極的に出し合い、先生の話に全力で向き合い、取り入れるといったクラスメイトの姿は、本当に頼もしかったです。



2組文化委員の■■■■さんと■■■■さん

結果的に優勝を勝ち取ることは叶いませんでしたが、今まで一番良かった合唱でした（私たちの2組大好きフィルターが10層ほどかかっている耳には、世界で一番きれいな流浪の民だったと感じました!!）!! 負けたにしろ、勝ったにしろ、この経験は2組のみなさんにとって一生ものの素晴らしいものになったと思います!! まだクラス合唱は始まったばかりです。来年、2組のみなさんが、また合唱コンクールで活躍されることを期待しています!!

2年3組の文化委員を務めた[]と[]です。

まずは、合唱コンクールお疲れ様でした。私たちのクラスでは、クラスのみんなで協力しながら、合唱コンクールへ向けて頑張ってきました。パートごとの練習や全員での合唱練習、大事なポイントの確認といったことを、まだ2か月程しか経っていないこのクラスで頑張ることができて良かったです。

当日は、朝一番良い声で歌えていました。ハーモニーも綺麗だったし、沢山の人が褒めてもらえてみんな嬉しそうでした。



結果としては勝てなかったけれど、練習の成果を出し切ったので、自分たちが歌ってきた「君とみた海」の中では優勝だと思っているので、良いという結論になりました。「勝てないでガッカリ」ではなく、ポジティブに捉えられるのが3組の良いところだと思います。

2年生になっての初めての学校行事を、3組のクラス全員で楽しめて本当に良かったです。ありがとうございます。

3組文化委員の[]さんと[]さん



2年4組の文化委員を務めた[]と[]です。

今回の2年4組の合唱コンクール本番までを振り返ってみて、よかったところは「やる気」だと思います。正直なところ、5月中のパート練や6月の最初の方の全員での練習は、かなり開始に時間がかかっていた気もします・・・(ときには10分・・・!?)。

でも、本番が近づくほどクラスとしてのまとまりができていきました。私たちもまとめようと頑張りましたが、みなさんが積極的に仲が良かったおかげだと思います。

本番2日前のセミナーハウスでの練習、最初の頃では考えられないくらい歌声が響いていたし、きれいな合唱になっていました!本当に嬉しかったです!!本番は、少し緊張していたかもしれませんが、32人全員笑顔で歌えました!これまでの練習の成果でしかないと思います!



あらためてですが、2-4のみなさん!私たちは委員として合唱コンクールに向き合っていました、皆さん一人ひとりも真剣に向き合っていました!感謝です!!

いろいろと不運なこともありましたが、無事に終えることができました。本当にお疲れ様でした! []先生、運営面でも合唱の面でもサポートしてくださり、ありがとうございました。これからも同じ委員会の先生としてよろしくお願いいたします。

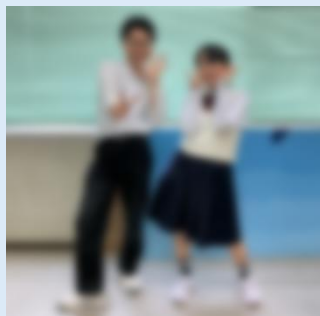
4組文化委員の[]さんと[]さん



学年・組	曲名	指揮者	伴奏者
2年1組	ほらね、	さん	さん
2年2組	流浪の民	さん	さん
2年3組	君とみた海	さん	さん
2年4組	世界をかえるために	さん	さん
2年5組	予感	さん	さん

2年5組の文化委員を務めた■■■■と■■■■です。

まず練習を振り返って、優勝を掴み取るためには、指揮者の■■■■さんと伴奏者の■■■■さん2人による質の高い練習が必要不可欠だったと思います。2人の丁寧な声かけのおかげで、テノールパートの人たちは大きな成長をとげることができました。高い指導力を発揮してくれた指揮者と伴奏者の2人、パートをまとめてくれたパートリーダー、そして、その練習について来てくれたクラスの人たち、2年5組全員がこのクラスのために努力してくれたことを強く感じました。あらためて、ありがとうございました。



5組文化委員の■■■■さんと■■■■さん

合唱コンクール当日では、私たちのクラスが最後だったので、緊張で手が震えて寒くなってしまいましたが、クラスみんなが「大丈夫だよ!」「自信持って!」「頑張ろうね!」と明るい声をかけてくれたおかげで全力で歌うことができました。みんなの支えで成り立つ、元気で最高のクラスだと思います!私と■■■■さんは、午後に仕事で裏を支えることができました。本当に最高の1日でした。

指揮者と伴奏者の2人はクラスをまとめてくれました。みんなは、たくさん練習して最高の合唱をつくってくれました。先生は、私たちの気持ちを上げてくれたり、大きな楽譜を作って支えてくれたりしました。本当にこのクラスでよかったと思います。ありがとうございました!

〇〇先生サプライズお祝い会!大成功!!

6月5日(金)から産休に入られた学年職員の■■■■先生をお祝いする会を、前日4日(木)の7時間目後半にサプライズで実施しました。当日は学級委員が司会進行を行い、学級委員長の2年1組■■■■さんが学年を代表してお祝いのことばを述べ、クラスの代表者が色紙を渡したり、2年生の中では「幸福を呼ぶ植物」とひそかに知られている「ワイルドストロベリーの苗」をプレゼントしたり(■■■■先生もびっくり!)と、終始みんなの笑顔が絶えない、温かい雰囲気の中で終わることができました。



別れはさみしいですが、また会える日を楽しみに、学年全員でこれからも頑張っていきましょう。WE ARE 14期 青学年!

色紙を渡すクラスの代表者たちと、頼もしい学級委員さんたち



6月4日(木)サブアリーナにて、■■■■先生を囲んで撮った学年集合写真。みんなの笑顔が素敵です!学年全員がまた会える日を楽しみにしています。